

論文概略

論文タイトル	Physical performance and self-report outcomes associated with use of passive adaptive and active prosthetic
掲載誌名	Journal of Rehabilitation Research and Development
巻号項	Volume 52 Number 6 Page 677
出版年	2015年

支援機器	Prosthetic knee
分類(ISO9999)	6
試験相	4
研究仮説(目的)の概要	能動的制御システム、適応制御システムの膝は受動的制御システムの膝より、水平面、傾斜面、不整地、階段時の歩行パフォーマンスと主観的な結果を大幅に改善させる。能動的制御システムは適応制御システムの膝と比し、膝の伸展を含む動作の際に大幅に改善させる
研究デザイン	群内比較(クロスオーバー)
障害・疾患	切断
対象者・数	障害者12人(49歳~63歳まで、男性)
主要アウトカム	段差昇降、スロープ、不整地の所要時間。TVA、TST、TRT、屋外障害物歩行
副次アウトカム1	PROMIS-PF/FAT/GH
副次アウトカム2	PEQ-MS
副次アウトカム3	ABCスケール
副次アウトカム4	
副次アウトカム5	
統計学的検定	有
結果の概要	パフォーマンス、アンケートともに3つの条件で清明な差はなく、仮説を支持するものではない

論文整理番号 157 ※正確な情報が必要な場合には、元の論文を確認してください。

「支援機器の臨床評価および利用効果データベース」
 支援機器イノベーション創出のための情報基盤構築に関する研究
 (H26~28 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業)

国立障害者リハビリテーションセンター